

5

ラダーゲッター

特徴 ヒモでつながっている2個のボールをラダー（はしご）に向かって投げ、ボールがラダーに引っかかるとポイントとなる。はしごには1、2、3点と表示があり、引っ掛かったボールの数で得点を競うゲーム。

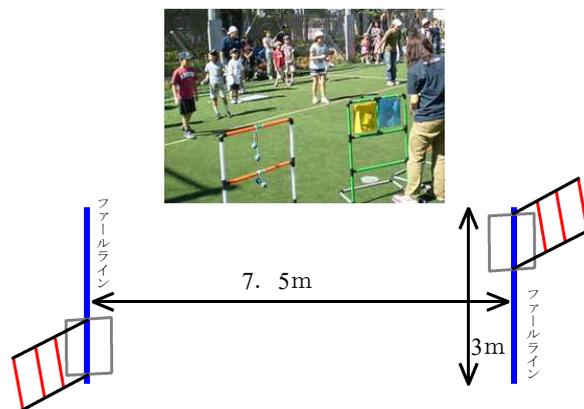
人数 1チーム1人～3人

場所 屋内

貸出用具

セット内容

3セット



本体2組 得点板1組、専用ボール12個（黄×6 青×6）

ルール

ラダーゲッター

- ☆基本的なコートサイズは縦7.5m、横3m。ただし選手の体力やレベルに応じて短縮しても良い。
- ☆プレイヤーまたはチームは同じ色のボールを3つ用意する。
- ☆ファールラインの後ろからプレイヤーは、必ず下手投げで7.5m離れたところのゴールラダーに連続で投げる。
- ☆得点は、●一番上のラダーにボールが引っ掛かると3点
●真ん中のラダーにボールが引っ掛かると2点
●一番下のラダーにボールが引っ掛かると1点
●地面にバウンドしていずれかのラダーにボールが引っ掛かると5点となる。
- ☆どちらかが21点丁度を取って勝利するまで行う。ただし21点をオーバーすると、その投てきにおける獲得点は無効となり、次の投てきの時は前の得点に戻して試合を続ける。
- ☆後攻のプレイヤー（チーム）は先攻のプレイヤー（チーム）がすでに獲得しているラダーを弾き飛ばして、先攻の得点を帳消しにすることも可能。
- ☆二人もしくは複数のプレイヤーのボールが残った状態で先攻に続き後攻が21点丁度となりボールが複数残った場合は、後攻が①②を選択することが出来る。
 - ①先攻が1投、後攻が2投を使って相手の21点になった状況のボールを弾き飛ばすことに成功した方が勝ちとなる。両方とも失敗するとサドンデスオフを行う。
 - ②サドンデスオフを行う。サドンデスオフは1ラウンド行い、高い点を取ったほうが勝ちとなる。

★反則と注意

- ◆ゲーム中に誤った投球で人を傷つけないように安全に十分配慮して行う。
- ◆幼児や小学生低学年には必ず大人が付き添って安全にプレーする。
- ◆ボールを投げる方向や、ボールを投げるプレイヤーには近寄らない。プレー前にはボールの結び目を必ずチェックする。